

— 平成24年度 第2回 —

子どものまち参画の意義

ドイツのミュンヘンで始まった「子どものまち」が日本の各地で広がりをみせています。地域によって意図は若干の違いはあるものの、基本的には子ども自身がまちをつくり主体的にそのまちを運営する、いわばまちをテーマにしたごっこ遊びです。

しかし、なぜこれほどまでにこの活動は広がっているのでしょうか。それは単純に子どもの社会参画の学びを超え、閉塞感を感じるまちの現状打破を、子どもの持つ可能性に大人が期待しているからではないでしょうか。

子どもにも高齢者にも住みやすいまちの創造や、地域づくりの有効なプログラムについて考えます。

平成24年6月15日（金）

参加費
無料

開催時間：18：00～20：00

会場：聖徳大学生涯学習社会貢献センター
5階教室

内容：

18：00～ 開会あいさつ

18：05～ 話題提供

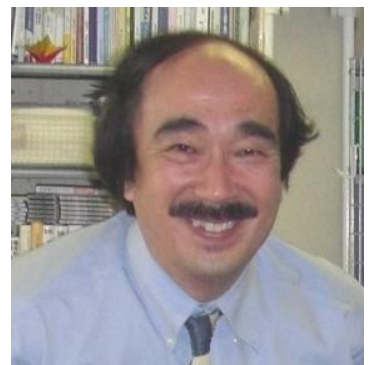
「子どものまち参画の意義」

聖徳大学児童学部児童学科准教授 神谷明宏

聖徳大学人文学部生涯教育文化学科准教授 齊藤ゆか

18：50～ フリートーク・情報交換

20：00 終了



申し込み・問い合わせ

聖徳大学 生涯学習研究所（10号館6階）

〒271-8551

千葉県松戸市松戸 1169 聖徳大学生涯学習社会貢献センター6階

TEL：047-365-5691 FAX：047-365-5692

Email：frontier@seitoku.ac.jp

URL：http://tunagari.jp

どなたでもご参加いただけます
ぜひ、ご来場ください